

## 参 考

### 【 概 要 】

# 平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第2回)

## 1. 調査の概要

調査対象期間(平成24年7月～平成24年10月)に民間住宅ローンを借入した方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者166件について集計を行ったものである。

## 2. 調査結果の主なポイント

### (1)フラット35を知るきっかけは「住宅・販売事業者」が最も多い

- ・ フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が42. 2%と最も多く、次いで「インターネット」(27. 7%)、「住宅情報誌」(13. 9%)と続いている。<p2>
- ・ フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「住宅金融支援機構」、「新聞記事」等の影響が大きい。<p2>

### (2)インターネットで収集した住宅関連情報は「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」が最も多い

- ・ インターネットで収集した情報は、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」が82. 6%と最も多く、次いで「住宅ローン返済額に関するシミュレーション」(60. 9%)、「資金計画に関するシミュレーション」(50. 0%)と続いている。<p4>

### (3)フラット35を利用した理由は「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が最も多い

- ・ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が57. 2%と最も多く、次いで「金利が低い」(48. 8%)、「フラット35Sを利用したい」(39. 2%)と続いている。<p5>